



 <p style="text-align: center;"><b>徳育科のパイオニア コミュニティ・スクール</b>  <b>八小だより</b>                  武蔵村山市立第八小学校 平成28年7月20日  <a href="http://www.city.musashimurayama.lg.jp/school/mmced8s/index.html">http://www.city.musashimurayama.lg.jp/school/mmced8s/index.html</a></p>	教育目標 ◎ 考える子 ○ 思いやりのある子 ○ やりとげる子
	行動目標 わけをそえて話すことができる子 教室で話しているのは一人

## 夏休みは徳育科の実践の場

校長 牧 一彦

「ありがとうございました。」

「お世話になりました。」

先月末、6年生と共に日光移動教室に行ってきました。バスを降りる時、宿舎を去る時、尾瀬の自然観察員さんと別れる時など、子供たちから、口々にこのようなお礼の言葉が聞こえてきました。誰に強制されるでもなく、自分から自然に挨拶できる姿は、正に本校が推進している徳育科の成果ではないかと考えています。

徳育科の授業では、単に挨拶の仕方だけを教えているわけではありません。「挨拶をする時の気持ち」、「された時の気持ち」、あるいは「挨拶をしなかった時の気持ち」、「されなかった時の気持ち」等、自分の言動を振り返ったり、人の思いを推し量ったりする活動を行っています。併せて、実際に挨拶の言葉を練習するなど体験的な活動も取り入れ、道徳的価値の自覚を深めると同時に、より実践に結びつくよう意図的な指導をしています。そのような取組が、移動教室での自分からの挨拶につながっているのだと思います。しかし、これらの優れた言動が「教員の見ている前でのみ」行われているとしたら、それは、本当の生きてはたらく力になっていないとは言えません。

明日からは、子供たちが楽しみにしている夏休みが始まります。この42日間は、学校で培ってきた徳育科の授業の「真の成果」を発揮するチャンスです。休み中に経験する様々な場面で、人の気持ちを推し量り、どのような言葉を発すればよいか、どのように振る舞うことがよりよいのかを考えて行動できることを期待しています。御家庭や地域の皆様にも、そのような場面がありましたら、ぜひ励ましていただけますとうれしく思います。そして9月には、ひと回り大きく成長した姿を見せてくれることを楽しみにしています。地域・保護者の皆様の御理解と御協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

### 1学期、様々な方々からたくさん学びました。

特進教室(5・6年) 米作り(5年) 消防の仕事(4年) 自転車教室(3年)  
 昆虫の成長(3年) 絵手紙(1～3年) 詩吟(2年) 読み聞かせ(1年)  
 セーフティ教室(全学年・保護者も・地域も・教員も)……まだまだ紹介しきれません。

どうもありがとうございました。  
 そして、これからもどうぞよろしく  
 お願いいたします。

